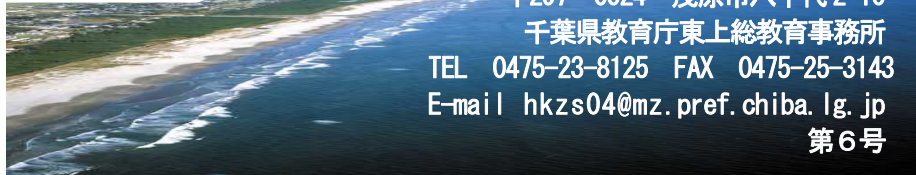




サクラ (大嘗楽の木)



東上総のマーク



〒297-0024 茂原市八千代 2-10
 千葉県教育庁東上総教育事務所
 TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
 E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp
 第6号

平成29年2月10日(金)発行

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成28年4月19日(火)に、全国の小学校及び特別支援学校小学部の第6学年の全児童、中学校及び特別支援学校中学部の第3学年の全生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

千葉県の調査実施校は、公立小学校809校、公立中学校386校の合計1,195校(特別支援学校を含む)です。

調査の内容は、国語と算数・数学の「教科に関する調査」と、児童生徒及び学校に対する「生活習慣や学習環境等に関する調査」でした。

教科区分別調査結果については、右表のとおりです。本県は、概ね全国平均と同程度ですが、小学校の算数Aと中学校の数学A、数学Bが全国平均を下回っています。

小学校	千葉県	全国
国語A	73	73
国語B	58	58
算数A	77	78
算数B	47	47

中学校	千葉県	全国
国語A	76	76
国語B	67	67
数学A	60	62
数学B	43	44

公立学校の平均正答率(%)

本県の課題

各教科区分に共通する課題

◆記述式の正答率が低い ◆無解答率が高い

教科・質問紙調査		今年度の課題
小学校	国語	◆記述式(文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書く) ◆ローマ字を書く, 読むこと
	算数	◆数と計算(小数の減法, 四則計算) ◆図形
	児童質問紙	◆算数への関心等 ◆学習習慣
	学校質問紙	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用
中学校	国語	◆漢字の書き
	数学	◆関数 ◆図形 ◆資料の活用 ◆記述式
	生徒質問紙	◆国語への関心等 ◆総合的な学習の時間への関心等 ◆学習習慣
	学校質問紙	◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用

分析結果報告書(平成28年12月千葉県総合教育センター)より

調査結果の詳細な分析を!

指導改善を効果的に進めるためには、調査結果の分析を詳細に行うこと、分析結果は、教育活動を改善するために調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用することが重要です。

今年度、千葉県総合教育センターが提供している分析ツールが新しくなり、より扱いやすくなりました。「教科・質問紙分析ツール」、「誤答分析ツール」、「クロス集計ツール」の3つを使って、国や県の平均正答率との比較、各設問でどんなつまづき方をしているのか、自校の児童生徒の生活習慣・学習習慣と学力にどのような関係があるか等、詳細な分析が可能ですので、ぜひ御活用ください。

東上総管内で実施された「公開研究会」

「平成28年度特色ある道徳教育推進校(兼 心の教育推進キャンペーン実施校)における公開研究会」

千葉県では、道徳教育の充実を図るため、幼（認定こども園）・小・中・高等学校・特別支援学校が連携した道徳教育の推進や県作成の道徳教育映像教材の活用を含めた研究を行い、その成果を普及することを目的に、この研究会を開催しています。本年度からは、「心の教育推進キャンペーン」実施校を兼ねての開催となりました。「心の教育推進キャンペーン」も同様に、各校における「道徳の時間」の充実に向け、授業公開を行い、その実践をまとめ、実践事例の共有を図ることが目的とされています。

学習指導要領の一部改訂により、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から道徳が教科化されます。それに伴い、道徳教育は「考え、議論する道徳科」への質的転換が求められています。管内4校の公開研究会では、県の映像教材をはじめ、さまざまな資料を活用し、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ、道徳的価値を児童生徒が自分自身との関わりの中で深めていくといった授業が展開されました。また、多くの先生方に参観いただき、充実した研究会となりました。



10月6日(木) 11月8日(火)
いすみ市立大原中学校



11月15日(火)
一宮町立東浪見小学校



11月22日(火)
いすみ市立大原小学校



11月29日(火)
茂原市立西陵中学校

「平成28・29年度千葉県教育委員会食育指導推進拠点校授業公開」

(大多喜町立大多喜小学校・東金市立鶯嶺小学校)

千葉県教育委員会では、食に関する指導実践力の強化を図るために、「地域における食育指導推進事業」を実施しています。本事業は、東上総教育事務所管内の食に関する指導の推進役として、栄養教諭を食育指導推進委員に委嘱し、授業研究と事後研究を通して、地域における指導者としての育成を目指すものです。そして、食育指導推進委員の所属校を食育指導推進拠点校に2年間指定しています。

今年度は大多喜町立大多喜小学校・東金市立鶯嶺小学校の2校で公開授業（下表の2学級）が行われ、地元小中学校の管理職、教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員等、多くの方々の参加がありました。

	教科・領域	学級	題材名	授業者
大多喜小学校	学級活動	3年1組	おやつのととり方	藤平 健太 教諭 原 美里 栄養教諭
鶯嶺小学校	学級活動	3年1組	バランスの良い食事	布留川正己 教諭 小川 公子 栄養教諭

授業では食育の視点を、食に関する指導目標（食事の重要性・心身の健康・食品を選択する能力・感謝の心・社会性・食文化）からしっかりとおさえ、児童一人一人が自身の食生活を振り返りながら、活発な意見交換が行われていました。

研究協議会では授業についての感想や、各学校における日頃の取組などについて協議が行われ、有意義な研修・情報交換の場となりました。

平成29年度は、大網白里市立増穂北小学校・長生村立高根小学校が公開予定です。



【大多喜町立大多喜小学校】



【東金市立鶯嶺小学校】